

II 第33号議案 王子公園再整備事業委託契約締結の件

第 33 号議案

王子公園再整備事業委託契約締結の件

王子公園再整備事業委託契約を次のとおり締結する。

令和 7 年 3 月 19 日 提出

神戸市長 久 元 喜 造

- | | | |
|---|---------|---|
| 1 | 業 務 名 | 王子公園再整備事業 |
| 2 | 業 務 場 所 | 神戸市灘区王子町 2・3 丁目、青谷町 1 丁目ほか |
| 3 | 業 務 概 要 | 王子公園再整備に係る設計、建設及び工事監理業務並びに既存施設の解体撤去業務 |
| 4 | 委 託 金 額 | 155億9,998万円 |
| 5 | 受 託 者 | 大阪市中央区本町 2 丁目 3 番 14 号
りんかい日産・東亜道路・内藤ハウス・梓・パシフィック
コンサルタンツ・E-D E S I G N 特定建設工事共同企業
体
代表者 りんかい日産建設株式会社 大阪支店
執行役員支店長 鯨坂 親之 |
| 6 | 支 出 科 目 | 一般会計 土木費 公園緑地整備費
公園整備費 委託料 |
| 7 | 完 成 期 限 | 令和 13 年 3 月 31 日 |

理 由

市会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（昭和 39 年 3 月条例第 84 号）第 2 条の規定により、市会の議決を経る必要があるため。

第 33 号議案 王子公園再整備事業委託契約締結の件

1. 事業概要

王子公園再整備事業は、王子公園再整備基本方針や基本計画に基づき、公園施設の老朽化や時代の変化への対応等の課題に対し、市民の健康増進、スポーツ振興の観点から施設の更新を進めるとともに、誰もが気軽に憩い・くつろげるより魅力的な公園にリノベーションするため、事業対象となるスポーツゾーンや広場・園路、立体駐車場等の複数施設の設計・施工を一括して行うものである。

このたび、公募による総合評価落札方式一般競争入札を実施し、学識経験者等で構成する選定委員会による審査結果を踏まえ、事業予定者を決定するとともに、本事業に係る事業契約を締結する。

<主な業務内容>

- ・王子公園再整備に係る設計、建設及び工事監理業務 一式
- ・既存施設の解体撤去業務 一式

2. 事業予定者（落札者）

りんかい日産・東亜道路・内藤ハウス・梓・パシフィックコンサルタンツ・E-DESIGN
特定建設工事共同企業体

（代表企業：りんかい日産建設株式会社 大阪支店）

3. 落札価格

15,599,980,000 円（消費税及び地方消費税を含む）

4. 提案の概要

別添「提案概要書」のとおり

5. 審査結果

（1）総合評価点

総合評価点：679.83 点（加算点：479.73 点、価格点：200.10 点）

評価項目	配点	採点
1. 実施体制に関する事項 （事業実施体制）	90	66.86
2. 全体計画に関する事項 （コンセプト、空間構成と用途、緑の保全と緑化、防災性・安全性への配慮 等）	220	146.57
3. 個別施設計画に関する事項 （緑の広場、園地園路、動物園エントランス、スタジアム、立体駐車場 等）	190	121.73
4. 施設整備業務に関する事項 （設計・施工計画、工程計画、動物への配慮、周辺への配慮）	100	61.71
5. 地域経済への効果に関する事項 （地元企業の活用、地域資源の活用）	100	82.86
合計（①）	700	479.73
価格点（②）	300	200.10
総合計（①+②）	1000	679.83

(2) 審査講評の概要

各分野の必要な経験を有し、十分な能力と専門性を有する企業グループによる実施体制であることや、王子公園内外の新たなにぎわいを創出するための明確なコンセプトが設定され、敷地の高低差になじむ建物の断面構成とヒューマンスケールを活かしたランドスケープであることを評価し、当該グループを本事業の事業予定者として選定した。

(3) 選定委員会

委員長	田中 栄治	神戸女子大学	家政学部	家政学科	教授
委員	岡本 知佳子	神戸市都市局	部長	(景観政策課長事務取扱)	
委員	金山 千広	立命館大学	産業社会学部	教授	
委員	津島 秀郎	神戸市都市局	都心再整備本部	局長	(事業推進担当)
委員	鳥居 宣之	神戸市立工業高等専門学校	都市工学科	教授	
委員	山田 宏之	大阪公立大学	農学部	緑地環境科学科	教授
委員	和田 真理子	兵庫県立大学	国際商経学部	准教授	

(敬称略、委員長を除き 50 音順)

6. 今後のスケジュール (予定)

2025 年 (令和 7 年) 4 月	事業契約の締結 (市会の議決後に締結予定)
2025 年度 (令和 7 年度) ~	設計・施工
2028 年 (令和 10 年) 春頃	立体駐車場完成
2029 年 (令和 11 年) 春頃	緑の広場完成
2030 年 (令和 12 年) 春頃	新スタジアム・シンボルプロムナード完成

7. 完成期限

2031 年 (令和 13 年) 3 月 31 日

王子公園再整備事業(設計・施工一括発注)

提案概要書(提案者)りんかい日産・東亜道路・内藤ハウス・梓・パシフィックコンサルタンツ・E-DESIGN特定建設工事共同企業体

この概要書は事業予定者から提案されたものであり、確定したものではありません。また、設計・施工一括発注の対象外部分は事業予定者がイメージしたものであり、実際の整備内容を示したものではありません。

公園の魅力を引き継ぎ、地域に開かれみんなが憩い楽しく利用できる【THE OJI PARK】を整備し、新たなにぎわいを創出します

提案概要

王子公園の魅力向上させる3つのコンセプト「Open」「Join」「Inclusive」

OPEN

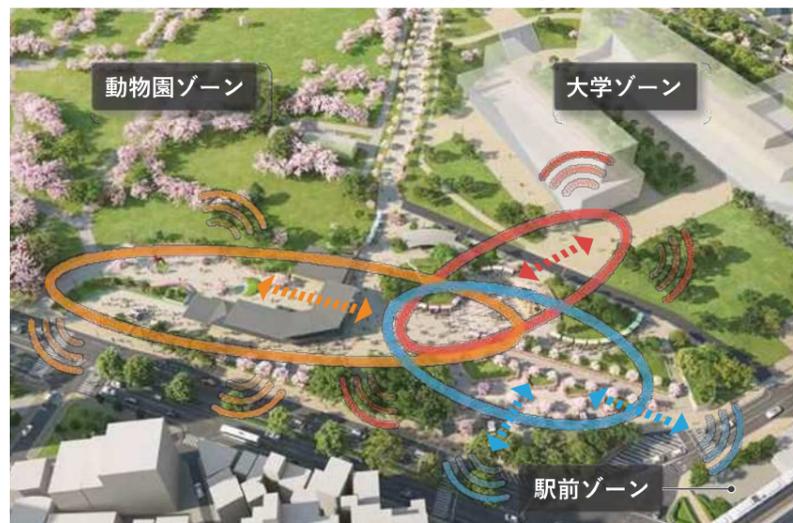
地域・市民に開かれたオープンな公園

- 公園全体が地域活動を支える基盤となり、市民の日常生活に寄り添った公園を提案します。
- 親しみやすい施設づくりを目指すことで、日常利用だけでなく、災害時の地域の防災拠点として市民の安心を支える公園を目指します。
- 敷地の形状を活かし、開放性が高くみんなが気軽に立ち寄れる公園を提案します。



▲都市(駅・大学・動物園)と調和し賑わいを発信する広場空間

- 阪急王子公園駅や王子動物園、大学などの都市機能が隣接する南側に「都市×公園」の結末点「ウェルカムゾーン」を整備します。
- 阪急王子公園駅に面する溜まり空間は、待ち合わせスポットや地域コミュニティの活動拠点として都市の新たなシンボルとして整備します。
- 整備が予測される大学アプローチ空間を意識し、大学ゾーンに面する場所に学生の歩行者空間と滞留空間が一体的につながる広場を創出し大学ゾーンとの調和を図ります。
- 動物園ゾーンは、園内外が視覚的につながるメインゲートを整備し動物園の賑わいが広場全体に波及され、それぞれの賑わいの相乗効果を生み、王子公園全体の賑わいを都市へ向けて発信する広場とします。



ウェルカムゾーン鳥瞰イメージ

JOIN

ひと・地域・緑・景観をつなぐ公園

- 「まち×公園」、「公園×施設」、「公園×ひと」など、まちと公園の関係性を強固につなぐ公園環境を整備し、市民の活動を支えることで、年齢の垣根を超えた地域のシンボルとなり、永く愛される公園を目指します。
- 美しい自然と資産を未来へ継承していくため、周囲の緑や景観が繋がる公園を提案します。



▲まち(周辺居住地)に開かれみんなに親しまれるスポーツ広場

- 美しい六甲山系の景観を背景とした住宅地や教育・スポーツ施設が集約された良好な住環境の北側に「まち×公園」の結末点「スポーツゾーン」を整備します。
- スポーツゾーンは、誰もが気軽に立ち寄ることができ親しみを感じられる開放的な広場とします。広場には、散歩道やランニングコースをはじめ、アメリカンフットボール、陸上競技が可能なスタジアムを整備し、スポーツ意識の向上や健康促進を促します。
- 敷地の傾斜を最大限活かし周辺居住地や公園と建築が一体となったシームレスな広場とし、周辺居住地への圧迫感への低減と緑豊かな修景の調和に配慮します。



スポーツゾーン鳥瞰イメージ

INCLUSIVE

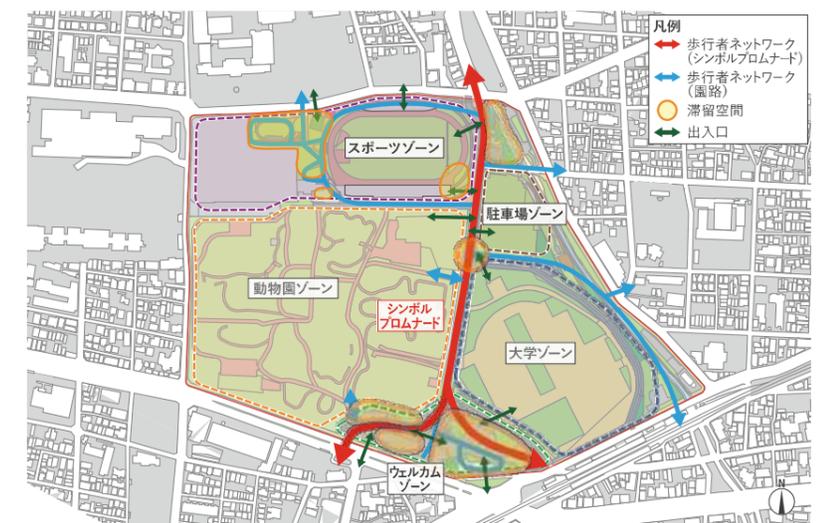
王子公園内外の賑わいを創出

- 「歩きたい!遊びたい!スポーツしたい!」を叶える、みんなのレクリエーションの新たな拠点をづくりします。
- 施設利用者だけでなく、周辺居住者や学生など誰にとっても身近に活動を楽しむことで、貴市の活力創生の場となり、地域の活性化を目指します。



▲歩いて楽しい公園の骨格をつくる「歩行者ネットワーク」

- 周辺地域との接続性を考慮した「歩行者ネットワーク」を整備します。特に主要動線となるシンボルプロムナードには、王子公園駅や周辺居住地、動物園や大学、スタジアムや緑の広場など全ての場所を結ぶ園路を計画し、多様な人流を生み出します。
- 歩行者ネットワークは、シンボルプロムナードを軸とし、それぞれの場所をつなぐ歩行者空間を縫うように整備し回遊性や多様性を高め、公園全体のウォークビリティの向上、活動の連続性を高めます。
- 地域住民や周辺の学校に通う学生など多様な来園者に対し、人が溜まりやすいアプローチ部や園路の交差点には、滞留空間を確保し安全かつユーザビリティの高い動線計画とします。



歩行者ネットワーク図

王子公園再整備事業(設計・施工一括発注)

提案概要書(提案者)りんかい日産・東亜道路・内藤ハウス・梓・パシフィックコンサルタンツ・E-DESIGN特定建設工事共同企業体

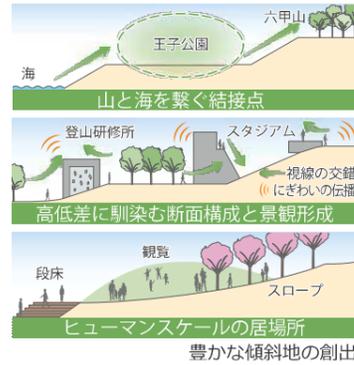
この概要書は事業予定者から提案されたものであり、確定したものではありません。また、設計・施工一括発注の対象外部分は事業予定者がイメージしたものであり、実際の整備内容を示したものではありません。

王子公園ならではの高低差を有効利用し、豊かな自然環境を最大限引き出す景観デザインとします

公園の立地条件によるデザインコンセプトや景観形成の方針 敷地の高低差を活用した景観づくりと周辺地域との調和

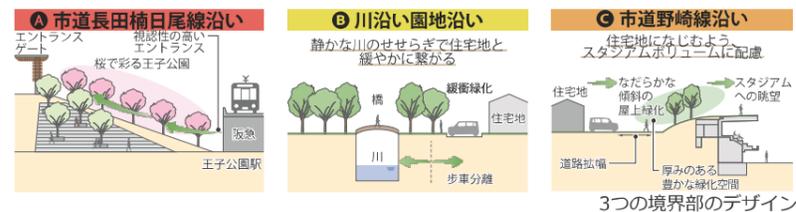
▲人々の行動と視線が交錯する豊かな傾斜地の創出

- 山と海を繋ぐ結節点として文化的に栄えてきた地域の歴史を継承し、傾斜地を活かした特徴的なデザインを実現します。
- スタジアムや登山研修所では高低差に馴染む断面構成と景観形成により周辺環境との調和を図ります。
- 随所に高低差を利用した段床やスロープ、法面を設けることでヒューマンスケールで居心地のよい空間を創出します。



▲街に開かれた緑のネットワークの創出

- 王子公園全体で「8つの広場」と「3つの境界部」をデザインすることにより、街に開かれた緑のネットワークを構築します。
- A 市道長田楠日尾線沿い** 桜で彩られたスロープにより視認性の高いエントランスで人々を迎え入れます。
- B 川沿い園地沿い** 緩衝緑地を設けることで公園と住宅地が緩やかに繋がります。
- C 市道野崎線沿い** 住宅街に馴染むよう、歩道と北側スタジアムをなだらかに接続させ、屋上緑化へと誘導します。



広域防災拠点、救援活動拠点としての機能を発揮するための工夫 公園全体を活かした広域防災拠点としての防災機能の確保・強化

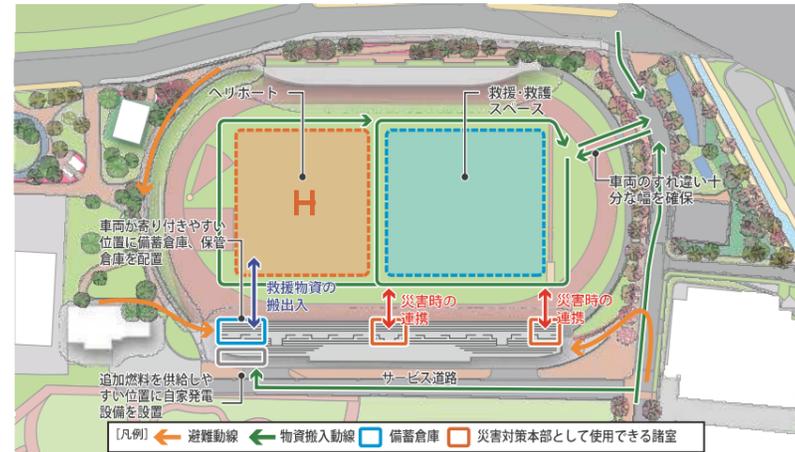
▲災害時の救助・救援動線の軸となるシンボルプロムナード

- 広域防災拠点、救援活動拠点として、災害時に起こる道路断絶や交通制限に順応できるよう、シンボルプロムナードの南北2ヶ所をメインの進入経路とし、公園全体で5ヶ所の車両進入経路を確保し、確実な支援物資受入れと供給が可能な計画とします。
- 救急車、消防車等の緊急車両を受け入れるシンボルプロムナードは、十分な幅員と高い視認性を確保することで、目的地へ迅速かつ安全に到着できる計画とします。



▲まちの防災機能を強化するスタジアム

- 災害時はスタジアムのフィールドを、救援活動拠点として活用できる計画とします。臨時ヘリポート及び物資集積スペースへ対応できる十分な広さを確保します。
- フィールドに面して保管倉庫及び、備蓄倉庫を緊急車両が寄り付きやすい位置に計画します。
- 緊急車両の進入路はスタジアム東側の1ヶ所に集約し、有事の際に経路がわかりやすい計画とします。通路幅は車両同士がすれ違いできる寸法を確保します。



夜間の景観に関すること ナイトタイムエコノミーを演出し、安心安全を確保する照明計画

▲夜間の防犯性に配慮した「光のみち」

- 歩行者ネットワークを介して園内をはじめ、園内をめぐる外灯により「光のみち」を形成し、居住者や来園者が安心できる安全な歩行空間をつくります。
- 光のみちが次の目的地へ導くガイドとして機能することで、居住者や来園者がわかりやすく快適な歩行空間を形成します。

▲自然環境を最大限生かした照明演出

- 緑の広場とシンボルプロムナードについては、利用者の安心と安全に配慮しつつ主要な部分については平均照度 5lx を確保し、色温度を 2700~3000K の暖色系で計画することで、温かみのある夜間景観を演出し、ナイトタイムエコノミーを促進します。
- 街灯の形や色を周囲の植栽や自然環境に合わせ、植栽が引き立つシンブルなデザインとします。
- 街灯だけではなく、スポットライトを適宜配置し植栽ごとの魅力を引き出す計画とします。
- スタジアム外周には過度なフェンスを設けないことで、地域の球技大会やお祭りなどのイベント開催時に公園と一体に利用できる計画とします。



(参考) 事業範囲図

凡例:  設計・施工・解体対象の施設

